

令和4年度 学校評価報告書

学校名	三田市立けやき台中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

「夢や希望をもち、目標に向かってたくましくしなやかに生きる生徒の育成
～明るく、わ(和・輪)のある学校～
めざす学校像
◆活気に満ちた規律ある学校…あいさつ、活気のある授業、ルールやマナー(場面に応じた言葉遣いや服装)を守る
◆学ぶ環境の整った、安全で美しい学校…適切な危機管理、掃除が行き届いている
◆地域の学校として、信頼され応援される学校…学校・家庭・地域、異校種、関係機関との連携、情報発信

2 今年度の学校重点目標

(1) 自尊感情を高める (2) 学力向上の取組 (3) 生徒指導の充実
(4) 人権教育・特別支援教育の充実 (5) 家庭・地域との連携
(6) 学校園所連携の推進 (7) 学校業務改善(勤務時間の適正化)

3 総合的な自己評価

学校教育目標やめざす生徒像・学校像の実現に向け、特に、「生徒たちが自尊感情を高める、TPOを考えられる」「教職員が危機管理に努める、生徒との信頼関係を築く」「地域の学校として、信頼され応援される学校になる」ことに意識して取り組んできた。生徒たちのアンケート回答(「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が多い)に元気が出る。PTA、保護者、地域、関係者の皆様のご支援とご協力に感謝する。

4 総合的な学校関係者評価

学校教育目標の実現に向かって、課題を明確にして教職員が取り組んでいることがよく分かる。アンケート結果にも、その成果が出てきている。変化の激しい時代に、「希望をもつ」「できる方法を考える」「仲間と知恵を出し合う」「一人で抱え込まない」ことを今後も大切にしてほしい。また、地域の皆さんとの出会いによって、たくさんのことを学び、支えていただいていることに感謝したい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点目標、目指す生徒像・学校像を意識した教育活動が日々実践されているか。	学校教育目標やめざす生徒像の実現に向かって、工夫によって学校生活を明るく楽しいものにできている。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の更なる浸透を図るとともに、課題意識をもって重点目標に取り組む。	コロナ禍でも工夫によって、学校生活を楽しいものにできている。けがや事故がなく、生徒たちが安全に生活できるようにしてほしい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	大規模改修工事によって、気持ちの良い学習環境ができた。特に、危機意識をもって安全対策に取り組めた。	保護者やボランティアの協力を広げたい。不審者や交通安全、様々な災害等に備えた訓練の工夫をさらに行う。	様々な災害や不審者事案を想定して、訓練を積み重ねてほしい。大規模改修工事が完了したので、校舎内外をきれいに保ってほしい。
教育課程 学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	体育大会や文化祭などの学校行事に全校生徒で取り組み、とても充実感のあるものにできた。保護者参観も工夫によって実施できたことは良かった。	学校行事や部活動、生徒会活動に、より主体的に取り組めるよう企画する。ホームページの更新に努める。	体育大会や文化祭を全校生徒で実施できたことが良かった。コロナ禍で生み出した体育大会の入退場は、応援がとても盛り上がっていて良かった。コロナが収束しても、良かったところは残してほしい。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	「iPadの効果的な活用」を研究テーマに、学力向上に取り組んできた。特に、家庭学習や読書を継続した課題と考える。	学力向上指導改善プラン(授業改善・家庭学習・学力補充・小中連携・読書)の実行を一層進める。	入学説明会では、中学校生活のDVDを編集するなど工夫を行い、新入生の不安を軽減し期待を膨らませた。読書を推進し、すべての教科に必要な読解力を育成してほしい。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	「場面に応じた服装や行動」「一人一人に応じた相談や生徒理解」、「生徒の良いところや頑張っているところを認める」などに、教職員は意識して取り組んできた。その成果が出てきた。	様々な機会に、生徒が頑張ろうと思える評価を行う。また、人の痛みを感じ、TPOに応じた言動ができるようにする。挨拶については、家庭や地域、生徒会と一体となった取り組みを継続する。	地域でも生徒たちは（卒業生も）お辞儀や挨拶をよくする。自分から気持ちの良い挨拶がさらにできるようになってほしい。 先生が生徒にとって近い関係で、生徒の縦の関係（先輩と後輩）も良いと感じる。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	小さな変化を見逃さないように、生活アンケートや教育相談を継続している。いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行い、組織的に取り組んでいる。	より生徒理解に努め、日頃より生徒に向き合う時間の確保、積極的な声掛けを行っていく。	さまざまな機会や方法によって、一層生徒理解に努めてほしい。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりができているか。	学校HPへのアクセス数も月平均 8,000 を超え、通信やミマモルメとともに、積極的な情報発信を続けている。	家庭や地域の皆様に学校や生徒の様子を直接見ていただく機会をつくとともに、タイムリーな情報発信を積極的に行う。	ホームページや学校だよりなど、積極的な情報発信をいつも楽しみにしている。学校の取り組みや生徒たちの様子がとてもよく分かる。行事予定の変更や配布文書掲載もありがたい。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	地域行事が始まり、双方向の行き来（生徒が地域に、保護者や地域の皆様が学校に）ができるようになった。	地域の協力やボランティアに感謝するとともに、生徒が地域に出かける機会を多くつくる。	感謝を伝えることはとても良い。学校へ来てもらうばかりではなく、生徒たちが地域へ出かけることも大切である。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
1月16日～1月27日	生徒・保護者・教職員対象にアンケートを実施
2月15日	アンケート結果及び学校自己評価のまとめ
2月28日	アンケート結果を保護者に配布
3月5日	学校評価の総括

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
8月19日	第1回学校関係者評価委員会(学校教育目標説明、評価計画)
9月13日	第36回体育大会参観
10月28日	第36回文化祭参観
11月29日	第2回学校関係者評価委員会(アンケート内容の確認)
1月27日	オープンスクール
2月15日	第3回学校関係者評価委員会(評価・総括)

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
2月	保護者宛て文書	「学校評価アンケート結果」を保護者に配布。	○
3月	学校だより	「学校評価報告書」を学校だよりに掲載、地域に回覧。	○
3月	学校ホームページ	「学校評価報告書」を掲載。	
4月	学校だより	2022年度学校評価結果を踏まえ、2023年度の取組等を説明。	